

中国サーキット選手権 (China Circuit Championship) 日産ティーダの何 (東風日産ギアチーム-Motul)がランキング トップに！MOTULの上海デビュー (7/25)

中国のツーリングカーレース「中国サーキット選手権」(China Circuit Championship 通称CCC)は現在第3戦まで終了し、1600ccクラスでは日産 ティーダ (MOTUL)を駆る何曉楽(東風日産ギアチーム)が第3戦の珠海(ズーハイ)サーキットで優勝し、ドライバーランキングトップに躍り出た。また東風日産ギアチーム (MOTUL) が、チームランキングトップに立った。

CCCの1600ccクラスは、中国人ドライバーの育成を目的に中国出身のドライバーしか登録できなくなっており、また改造範囲も比較的広く中国国内のツーリングカーベースのレースではメインカテゴリーに育ちつつある。また、年間6戦で戦われ、珠海、上海、北京の各サーキットで2戦ずつ行われる。

今年から参戦している日産ティーダのほか、フォルクスワーゲン・ポロ、シトロエンFK16V、起亜セラート(MOTUL)、現代エラントラなどの海外ブランドの車両が主力を占めるものの、ギリなど純中国産のマシンもエントリーしている。中国で販売されている車種であれば出場可能だが、日産ティーダは東風日産の広州工場で生産されている左ハンドルの「中国製」になっている。

また、今年の初戦が行われた上海サーキットでは、MOTULの上海エリアの立上げパーティーが大々的に行われた。上海F-1サーキットの1番コテージ(Villa)を貸しきり、関係者120人以上もを集めた華やかなパーティーとなり、上海でのMOTULビジネスのアピールとなった。

